

令和元年度(2019年度)

管理事業名	工商振興事業				総合計画の体系	大綱 7 政策 1 施策 1	都市魅力 地域経済の活性化を図るまちづくり 産業振興と創業支援		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 7	工商費	(項) 1	工商費	(目) 2	工商振興費		
部局名	都市魅力部	予算執行所属	地域経済振興室						
予算大事業名 工商振興事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)工商費(項)工商費(目)工商総務費 一般事務事業 (款)工商費(項)工商費(目)商業振興施設整備費積立金 工商振興事業								
事業の目的と概要 【目的】地域経済の循環及び活性化を目的として、地域経済の実情を踏まえ、その特性を生かした産業の振興を図り、活力あふれにぎわいのあるまちづくりを推進するための事業を実施する。 【概要】市内商業団体等に対し、補助金の交付、経営相談、情報発信などの事業を行っています。(商店街等魅力向上促進事業、相談事業、情報発信事業、市役所本庁舎内チャレンジャー育成事業等) 市内事業者に対し、融資の相談やあっせん、訪問による情報収集、補助金交付等の事務を行っています。(中小企業資金融資事業、企業情報収集・支援事業、中小企業活性化支援事業、企業誘致推進事業等) 創業者に対し、事業継続の支援として補助金交付や融資にかかる利子補給等の事務を行っています。(新産業育成・創業起業支援事業等) 消費税・地方消費税率引上げの影響緩和や、地域の消費喚起・下支えのため、低所得者世帯及び子育て世帯主にプレミアム付商品券の発行等を行っています。									

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	成果指標の定義
市内商業団体等に対する補助金交付件数	件	24	28	24	商工業団体事業活動促進補助金・商店街等商業共同施設設置事業補助金・商店街等魅力向上促進事業補助金・商業活性化コンサルタント派遣事業補助金の合計交付件数
市内事業者に対する補助金交付件数	件	33	31	35	中小企業活性化支援事業及び企業誘致推進事業における各補助金及び奨励金の合計交付件数
市内創業者に対する補助金交付件数	件	4	6	4	創業支援型事業所賃借料補助金の交付件数
成果の説明	市内商工業団体等の事業活動の活性化、快適で魅力ある市内商業地づくり、中小企業者の事業活動の安定及び発展、企業誘致の推進、創業支援等による地域経済の循環と活性化に資することを目的とした各補助金を交付することにより、市内商工業の振興につながっています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
経常収入				
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	314,333	314,333
府支出金(経常費用充当)	83	83	91	8
財産収入	880	5,460	5,460	-
寄附金	-	5	-	△5
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	14	5	5	0
その他	5	382	609,945	609,563
経常収入 小計(a)	983	5,935	929,834	923,899
経常費用				
給与関係費	90,709	93,750	109,247	15,497
物件費	1,681	1,444	173,999	172,555
維持補修費	5	121	-	△121
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	46,073	51,228	770,667	719,439
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	6,109	7,510	8,070	560
退職手当引当金繰入額	△3,761	10,900	13,154	2,255
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	140,817	164,953	1,075,137	910,184
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△139,834	△159,017	△145,302	13,715
特別収入				
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別費用				
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△139,834	△159,017	△145,302	13,715
一般財源充当額	152,100	154,631	139,131	△15,500
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	12,266	△4,387	△6,172	△1,785

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
国庫支出金	プレミアム付商品券事務費補助金 314,333千円 (+314,333千円)
その他	経常収入・その他 商品券販売総額 609,544千円 (+609,544千円)
負担金・補助金・交付金等	企業誘致推進事業補助金 35,640千円 商店街等魅力向上促進事業補助金 7,000千円(△2,059千円) 吹田産業フェア補助金 10,000千円 吹田市創業・中小企業振興支援事業補助金 3,000千円 新産業育成・創業起業支援事業 1,396千円 プレミアム付商品券事業 704,971千円(+704,971千円) ほか

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	983	5,935	929,834	923,899
行政サービス活動支出	153,069	160,556	1,088,960	908,404
行政サービス活動収支差額	△152,086	△154,620	△139,125	15,495
投資活動収入	300,000	300,000	300,000	-
投資活動支出	300,014	300,010	300,005	△5
投資活動収支差額	△14	△10	△5	5
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額合計	△152,100	△154,631	△139,131	15,500
一般財源充当額	152,100	154,631	139,131	△15,500
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入)プレミアム付商品券販売総額 609,544千円、プレミアム付商品券事務費補助金 314,333千円(行政サービス活動支出)プレミアム付商品券使用額 704,971千円(投資活動収入及び支出)小企業者事業資金融資預託金300,000千円を取扱金融機関に預託し、毎年年度末に回収。
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
1事業者あたりのコスト	平成29年度	12,270事業所	11,477 円	平成28年6月1日現在の吹田市内事業所数(分類不詳等含む)で算出しています。(平成28年経済センサス活動調査による)
	平成30年度	12,270事業所	13,444 円	
	令和元年度	12,270事業所	87,624 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	7,510	8,070	560
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	7,510	8,070	560
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
事業用資産	243,875	243,875	-	固定負債	75,335	80,952	5,618
有形固定資産	243,875	243,875	-	地方債	-	-	-
土地	243,875	243,875	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	退職手当引当金	75,335	80,952	5,618
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	負債の部合計	82,845	89,022	6,177
インフラ資産	-	-	-	純資産	698,553	692,381	△6,172
有形固定資産	-	-	-	重要物品	-	-	-
土地	-	-	-	図書館資料	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	投資その他の資産	537,523	537,528	5
建設仮勘定	-	-	-	出資金	-	-	-
重要物品	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	基金	537,523	537,528	5
投資その他の資産	537,523	537,528	5	徴収不能引当金	-	-	-
出資金	-	-	-	その他債権	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	資産の部合計	781,398	781,403	5
基金	537,523	537,528	5	負債及び純資産の部合計	781,398	781,403	5
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

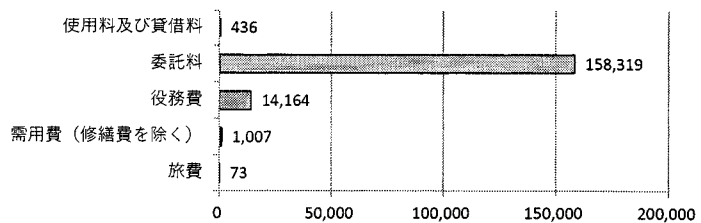
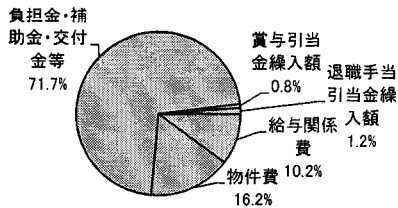
事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事証日数	実人数	
	13人	3人	480日	5人	130,471
給与関係費等	118,255千円	7,608千円	4,575千円	34千円	
内、時間外勤務手当	3,226千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
基金	商業振興施設整備基金 預金利子の積立による増

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			
		平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		33.6	33.6	10.2	△23.4

▽その他特記事項

IV 総括

▽分析結果の説明

経常収入の国庫支出金(経常費用充当)はプレミアム付商品券事務費補助金314,333千円、その他は商品券販売総額609,544千円です。経常費用の主なものにつきましては、負担金・補助金・交付金等770,667千円(71.7%)、物件費173,999千円(16.2%)、給与関係費(10.2%)となっています。経常費用のうち物件費及び負担金・補助金・交付金等の大幅な増額は、プレミアム付商品券事業にかかる委託料及び負担金によるものです。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

令和元年度は消費税及び地方消費税増税に伴う低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和し、市内消費を喚起・下支えするため、プレミアム付商品券事業を実施しました。今後も地域経済の循環及び活性化に資するため、既存企業や商業団体等の振興、創業者への支援については、時代のニーズに即した様々なメニューによる事業の展開が必要となってきています。それらを推進し、今年度の新型コロナウイルスの影響を受けた中で経済振興を図るため、今後「吹田市商工振興ビジョン2025」の中間見直しと後期アクションプランの策定に取り組んでまいります。